

以下は、2022 年度に東アジア圏へ長期留学した学生による留学関連情報と最終報告書です。番号①：釜慶大学校 ②-④：韓国カトリック大学校

⑤-⑦：誠信女子大学校

①

留学先	韓国・釜慶大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（釜慶大学校は学部の授業は必須だが、語学堂はターム問わずオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月1日～11月14日）：約6万円</p> <p>■冬ターム（12月1日～2月10日）：約6万円</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（9月～12月）</p> <p>→□現地学生メインの授業</p> <p>■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：食事提供有り</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：日本人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 1学期間（6か月）で約20万円</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 寮費を払えば滞在可能</p>
スマホ・携帯電話は どうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：6か月で約4万円</p> <p>私が申請したSIMカードは、日本の自宅で受け取りができ、韓国に入国してすぐに使用可能できた</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国で口座開設し、その口座に親からWiseという国際送金ができるサービスを利用して送金してもらっていた。</li> <li>買い物は主にクレジットカード決済</li> </ul>
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>学校の近くに大型スーパーがあり、必要なものはそこで揃えられるので無理に準備しなくてもいい。トイレトペーパーや生理用品は韓国で値段が高いため、余裕があれば持って行ったほうがいい。</p>
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	<p>留学に行く前に必ず行うべきことはまず語学の勉強です。私はゆっくり質問してもらえれば何とか一言答えられる状態で行きました。したがって、現地の友達を作るのに会話ができずに苦労しました。できれば会話ができる状態で留学に行くのがいいです。そして、日本と現地の国の文化や歴史についての勉強をすることも必要です。日本について聞かれることもあるので、詳しく知っておけば会話も弾むと思います。様々な国から留学生が来ているので、授業や寮などで積極的に交流すれば、非常に充実した留学生活を送れると思います。留学に関心を持っている人は是非とも挑戦してみてください。</p>

## 留学最終報告書：韓国・釜慶大学での留学を振り返って

私は 2022 年の 9 月から2月までの半年間、韓国・釜慶大学校で留学しました。この留学の大きな目的は、語学勉強であると思いますが、私にはほかにも様々な目的がありました。私にとって、日本を出てほかの国に行くということは初めてのことで、出発前から不安よりも向こうでどのようなことがあるのか、わくわくした気持ちでした。実際に、韓国留学では、自分の知らなかったことなど、毎日新鮮な体験ができ、私にとってとても刺激になった留学生活でした。

授業について、私は半年間の留学生活だったのでたくさんの授業を受けることはできませんでした。午前中は語学堂の授業を受講し、午後は学部の授業を一つ履修しました。学部の授業は韓国人生徒と一緒に受ける日本文化の授業を履修しました。日本文化の授業を選んだ理由は、韓国人たちが日本のどんな文化に関心があり、その文化についてどのように考えているのか気になって、私も一緒に日本の文化について考えてみたいと思ったからです。

日本文化の授業は先生が日本人の方ですべて日本語で授業を行いました。授業内容は日本の特撮ヒーロー（仮面ライダーやセーラームーンなど）から表現された社会問題や『風の谷のナウシカ』から表現された環境問題について考えるものでした。日本語で授業を行うということもあり、やはり周りの韓国人の生徒はみんな日本語が上手で、日本人にはない日本文化についての考えを聞いて勉強になったし、改めて日本文化について外国人の観点からも知ることができるいい機会になりました。期末試験は授業で取り上げた日本文化について自分の考えを一時間以内で書く筆記試験でした。しっかり自分の意見を書くことができ、単位も修得できました。

そして語学堂の授業では一番韓国語の向上に繋がったと感じた。語学堂は、授業時間が長く進度も早く毎日課題が出るので初めはかなり大変でしたが、授業がとても分かりやすく楽しいものだったので頑張ることができたと思います。私のクラスは日本人も多かったですが、中国人やベトナム人、ミャンマー人、台湾人など、主にアジア圏の方が多く、多国籍の友達をたくさん作ることができました。最初はお互い韓国語も不慣れで自分の伝えたいことが伝えられませんでした。習った文法や単語を使いながら話していくうちに韓国語力が向上できて、外国人と仲良くすることができました。先生もとても優しく一緒に食事をしたり、先生の結婚式に参加させてもらったりと日本ではできない体験をさせてもらいました。

私が留学前に一番懸念していたことは、自分の言いたいことを韓国語でうまく伝えられるかどうかという「言葉の壁」でした。留学していてそれを感じた場面は多々ありました。しかし、韓国語や韓国の文化を勉強しに来たわけなので、最初はできないのが当たり前だと思って落ち込むのをやめ、できる限り韓国で出会った韓国人や外国人の友達と積極的に話すようにしました。留学が始まった頃は、自分の韓国語の実力に自信がなく、授業についていけないのが不安でしたが、頑張り次第でいくらでも語学力は伸びると信じ、机に向かって勉強するだけでなく、外に出て友達と会話をして楽しく韓国語を学びました。毎日何らかの形で韓国語に触れるように意識しただけで格段に力をつけることができました。

私はこの留学を通して自信を持てるようになりました。私はもともと人見知りの激しい性格だったので、自分から声をかけることに抵抗がありました。しかし、この留学をいい機会に捉えて、積極的に話していきました。はじめはそっけない対応しか見せなかった友達も毎日のように遊んで帰国の際には涙で別れるほどの仲になりました。知らない土地で自分の存在をアピールする力は韓国で生活する中で成長できました。

留学を終えて日本で生活をしているが、韓国に留学してよかったと思いました。韓国だけでなくほかの国の文化も知ることができたし、留学した後は自分に自信ができました。この経験は忘れられないとてもいい経験になりました。この経験で学んだことを今後に活かしていきたいです。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月2日～5月12日）</p> <p>■夏ターム（6月7日～8月12日） 約10万円</p> <p>■秋ターム（9月13日～11月23日）</p> <p>■冬ターム（12月12日～2月17日） 約10万円</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月2日～6月22日）</p> <p>■秋学期（8月29日～12月15日）</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない。寮の各階の共有スペースに電子レンジとウォーターサーバーがあるのでそこで調理し、食事を済ませた。予約制の共有キッチンも利用することができる。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：</p> <p>春：日本 2人</p> <p>夏：日本 1人</p> <p>秋：韓国 1人</p> <p>冬：ルームメイトなし</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：</p> <p>寮費は部屋のタイプによるが3人部屋だと春学期と秋学期で4ヶ月（1,000,000ウォン）、6ヶ月（約1,500,000ウォン）と寮の滞在期間を選ぶことができる。水道光熱費は寮費に含まれている。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：</p> <p>6ヶ月を選択すれば滞在できる。</p> <p>4ヶ月を選択しても滞在できると思うが手続きが必要。</p> <p>また、6ヶ月を選択しても後から追加の寮費（130,000ウォン程）を請求されることがある。</p>

<p>スマホ・携帯電話はどうしていたか</p>	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入 →金額など詳細：現地で4ヶ月70,000ウォン（現在は80,000ウォン）でSIMカードを提供しているお店があるのでそこで4ヶ月毎お店に行き更新してスマートフォンを使用した。</p>
<p>現地での資金調達は どうしていたか</p>	<p>韓国で口座を作り、親に韓国の口座に送金してもらった。</p>
<p>現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと</p>	<p>日本のものや日本食が食べたくなるので現地にはあまり売っていない粉末スープやお茶漬けやふりかけなど持っていくことをおすすめする。 慣れないうちは体調を崩すことや、食あたりが起こることもあるので薬は準備して持って行った方がいいと思う。 その他に関しては現地で揃うので特に問題なかった。</p>
<p>留学を考えている後輩へ伝えたいこと</p>	<p>単語を覚えていれば文法が分からなくても大体会話が成り立つし、実際に留学してもっと単語を勉強しておくべきだったと思うことがあるので1日1単語でもいいので単語を覚えておくのがいいと思います。ですが、留学するからと言って無理に詰め込まなくても大丈夫です。語学堂で基礎から韓国語を学ぶことができるし、現地で出かけたときや地下鉄に乗るときに周りの韓国人の会話を聞くことを意識すれば耳が韓国語に慣れていきます。留学前に単語を覚えておくことに越したことはありませんが語学堂とは別の、大学の授業で留学生向けの韓国語の授業があるので自分のペースで勉強していけば大丈夫だと思います。現地でも焦らず自分のペースで自分に合った勉強法で勉強するのが一番いいと思います。お隣の国といえども半年から1年間海外で過ごすことはつらいことや大変なことがあります。その分自分自身の成長を感じることができると思います。色々なことを経験し悔いのない留学生活を送ってください。応援しています。</p>

留学最終報告書:1年間の留学を通して

私は韓国に1年間留学し、これまでにない程の自分自身の成長を感じることができた。私が韓国に留学したばかりの頃は韓国語を話す、聞くことに自信がなく出かけるときは友達と一緒にないと出かけられず、お店での注文も友達に任せてしまうなどと周りの友達に助けをもらうことばかりだった。しかし、韓国語を学んでいくうちに自信がついていき韓国語をもっと活用していきたいと思うようになった。わからない単語があったらネットや翻訳機にすぐ頼らず、まずは自分で理解しようとして試みたり、授業で分からない点があった際は先生に質問しに行ったり、授業中の発言を積極的にしたりして教科書の中にわからない韓国語がないようにした。また、スマートフォンの設定言語を韓国語に変更したり、語学堂で出会った外国の友達と出かけたり、ご飯を食べに行ったりしてなるべく日本語ではなく韓国語を使う機会を増やしていった。これらを続けていった結果、語学堂の試験の点数が上がり、韓国人の友達に韓国語がうまくなったと言われ自分の大きな成長が感じられた。

大学の授業では韓国語の授業と日本語の授業を受けた。日本語の授業は日本語を学ぶ韓国人向けの授業だったのでなぜ日本人が日本語の授業を受講するのか問われたことがあったが日本語を学ぶ立場として異国で授業が聞けたこと、韓国で日本語の授業を受講しなければわからなかった日本語と韓国語の表現の違いを知ることができ、自分にとっていい経験になった。韓国語の授業は留学生のみ受講することができる韓国語を学ぶ授業を受講した。語学堂では学びきれなかった単語や文法をさらに詳しく学ぶことができた。

語学堂では毎週月曜日から金曜日まで1日4時間勉強した。クラスメイトはイタリア、台湾、中国、ベトナム、マダガスカルなど様々な国籍の人たちと一緒に勉強をした。授業はすべて韓国語で行われるため特にスピーキング力とリスニング力を身に付けることができた。試験では自分の国について話す発表の項目があったり、授業の中でクラスメイトとペアワークをしたり話をする機会が多いので他の国と日本の文化の違い、考え方の違いなどを感じることができた。

韓国での日常生活では大学周辺に飲食店が立ち並んでいたが物価が想像していたよりはるかに高く、キッチンが予約制の為自炊も簡単にできなかったので食事の面では困る点が多かった。カップラーメンや決まった食事ばかりしていて栄養が偏ってしまい体調を崩すことが多々あった。自分のことは自分で管理しなければならないので食事や生活習慣には気を向けるべきだったと思う。

韓国での大学生活では大学の授業や語学堂、バディ制度等を通して様々な国の友達ができ、休日や授業が終わった後に一緒に話したり、出かけたり、ご飯を食べに行ったりと充実した日々を送ることができた。また、私は大学の様々なプログラムに参加した。特にMTという1泊2日の学科の懇親会に参加した際には1年生から4年生までの学生とバーベキューをしたりクイズをしたり楽しい時間を過ごした。また、バディ制度の学生と留学生がチームを組み、韓国の魅力を伝える映像制作する企画に参加した。私たちは韓国の伝統の遊びについて動画制作をした。数チームが参加していたが、私たちのチームが見事1位を獲得することができいい経験になった。

日本と韓国の関係は完全に良好とは断言できないのが現実だが日本人だからといって嫌な思

いを感じたことは一度もなかった。逆にカフェで隣に座っていた人が日本語で話しかけてくれたり、お店で私が日本人だと知って店員さんが「韓国語の勉強頑張ってるね。」と言葉をかけてくれたり皆優しく接してくれ、人の温かさを感じることができた。

1年間の留学生活で語学はもちろんそれ以外にも他国の文化や留学のつらさ、人の温かさなどたくさんを学び、吸収することができた。韓国留学で得たこの経験を今後活かし続けられるよう努力していきたい。

留学先	韓国・カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム：2月28日～5月11日</p> <p>■夏ターム：6月7日～8月12日 約10万円</p> <p>■秋ターム：9月13日～11月23日</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期 3月15日～6月22日</p> <p>■秋学期 9月13日～12月19日</p> <p>→■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： 含まれない</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 日本人2人(3人部屋)、日本人1人(2人部屋)×2</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 150万ウォン(ステファノ館3人部屋半年)250万ウォン(アンドレア館2人部屋半年)</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： できる</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>■日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細： 最初の1ヶ月は aah! education の最強 SIM 30[nano(ナノ)SIM]送料込 6600円を購入</p> <p>■現地で新たに契約・購入</p> <p>→金額など詳細： ソウル携帯ナビの格安ベーシックプラン36000ウォンを毎月購入</p>
現地での資金調達は どうしていたか	<p>海外カードから毎月お金を引き出し自分の韓国の口座に入れる。</p> <p>口座とカカオペイを連結させて交通カードと一般のカードとして使用。現金が必要なときはその都度口座から引き出す。海外</p>

	カードで引き出せる金額は一日 10 万円まで。韓国へ初めて出国する際は 100 万ウォンの現金を持っていった。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	調味料
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	現地で受講した授業と大学で取得できる単位を照らし合わせて計算をするといいです。現地人と仲良くしておいた方が、留学後のアンケートなどに答えやすいです。不安なことがあったらインターネットで調べ、わからなかったら誰かに聞いてください。学校や留学のことなら、語学堂の先生に聞いてもいいし、国際交流センターに聞いてもいいです。給付奨学金を受ける場合は条件を確認しておき、TOPIK は一度早めに受けておいたほうがいいです。留学が終わってからも留学最終報告書を書くことになるので、大切だと思ったことはメモをしておくことで。現地の人に言われたからと誤った情報をすぐ鵜呑みにせず、自分で調べてみることも大切です。現地に頼れる人がいないことが辛い時もあります。精神的に落ち込むのが一番良くありません。自分の健康と安全を一番に考えてください。

## 留学最終報告書

私は 2022 年 2 月から 2023 年 2 月の 1 年間韓国カトリック大学校に交換留学した。9 時から 13 時までは語学堂に通い、午後は学科の授業を受けた。

語学堂は 4 級から受けたため、普段疎通に困ることはなかった、先生は教科書から話を広げてくださるため、韓国の教育制度や歴史の話をよく聞いた。韓国の歴史の話になると、植民地時代の話は避けられない。先生がこの話をして大丈夫かと配慮してくださることもあったが、大丈夫だと答え植民地時代の話聞いたことも数回あった。私は過去の話であり、同じ国籍だけで他人には変わらないと考えているため、ただ歴史として頭に入れておきたかった。その話をして先生が反日になるよう教育することも勿論なかった。日本人だけの教室ではないので他の生徒の反応が気になったが、みんな授業として話を聞いているようで安心した。

学科の授業は日本語日本文化学科だったため、日本語の授業、留学生専用の韓国語の授業、韓国古文の授業、を受けた。日本語の授業はグループワークで行われるものがあり、その授業を通して韓国人と話す機会があったが、日本語で話さなければいけないので、韓国語を使う場面はなかった。しかし、その授業で知り合った人たちと放課後ご飯を食べるときは韓国語を使った。韓国人と知り合う機会があった授業で、受けて良かったと思う。

普段韓国語は語学堂で使うことになる。語学堂では、自分で PPT を作るニュース発表や、討論の時間を設けられる。PPT を作る際は、日本のニュースを韓国語に翻訳して作るが多かった。討論の時間はクラスにいる様々な国のことを知る機会である。印象深かった討論は中絶について話した時である。その時の語学堂のクラスは全員女性だったので、この討論内容に決まった。国によって法律も違うため、賛成反対で 3 人ずつ分かれて討論した。私は司会者をした。みんなの意見をまとめる際に、正しい、間違っているというような概念はなく、重要なのは女性の気持ちだと強く感じた。妊娠できるのは女性だけであり、生物学的な問題は解決するのが難しいため、女性の権利についても調べて考えるいい機会であった。先生はこの討論では勝敗を決めなかった。語学堂の授業ではわからない単語があれば積極的に聞くことも意識していたおかげか一月に TOPIK6 級を取得できた。

韓国に入国し 1 ヶ月後にコロナの症状が出たため、自己キットで診断後すぐに部屋を移って、次の日に歩いて近くの保健所まで行った。保健所でコロナ陽性と診断された。すぐに部屋を移ったため食料がなく、3 日でラーメン 3 つを食べた。お腹はすごく空いていたけれど電話で伝えなければいけなく、自信がなく耐えていた。事務所から教えてもらった出前のアプリは本人認証ができず使えなかった。語学堂の友達に一度食べ物を買ってきてもらったこともある。その後調べたら、違うアプリなら本人認証なしで出前が頼めた。語学堂の発表テストが被って、喉が痛かった状態で喋るのが少し辛かった。つたない韓国語で、体調が悪く頭が回らなかったので少し大変だったが、その後コロナにかかることは幸いなかった。3 月初旬に 3 回目のワクチン接種は終えていた。日本に入国するときに便利なので、受けておいて良かったと思う。

入国したばかりの時韓国では、接種証明に必要な外国人登録証もなく、店で食べることすら不可能だった。今はないので詳しくは書かないが、外国人登録証は学校が団体に申請するため 2

月中旬に入国したが、3月末まで来なく、韓国では電話番号を通して住民番号を入力する本人認証が必要なためその間はネットショッピングも難しかった。

普段いつも通り生活していても嫌なことが起こるのに、留学生活でもいいことだけ起こることはない。電車の中で老爺に差別されたことも、日本人と分かった瞬間男性がわざと聞こえるように日本語の真似をしてきて侮辱されたこともある。その反対で、韓国にはアニメ好きも多い。クレヨンしんちゃんやワンピースなど国民アニメは日本人と同じように見ている人が多かった。自分の国籍を明かした際に、アニメ好きと言われることも多かった。これは、韓国人からも、同じ語学堂の留学生からもよく言われた。みんなと話す上でいい話題になった。アニメを褒められることがとても多く、今までは何も考えず見ていた日本のアニメ技術を見直す機会になった。

去年は日本が流行っていて、コンサートに行った際に、隣の人から日本語の書いてあるカードを受け取ったこともある。流行りに限らず韓国には日本食も多い。寿司や豚カツの看板をよく見かける。誕生日にファンが行うカフェイベントを見てみると日本語が必ず書いてあった、日本人のために日本語を書いているのではなく、“かわいい”や“だいすき”など、デザインとして日本語が使われているものが多かった。特にKPOPファンのなかで流行っているように感じた。

差別されたり侮辱されたりしても、それだけで韓国人はこうだと決めつけるのはよくないと思った。日本に好意的な印象を抱いている人は多く、日本語ができる人も多かった。

よく、韓国人から韓国人について何かを聞くと、話される時、韓国人は“みんな”こうだよという言い方をよくされた。ここで聞いた話の中には文化ではなく、個人的な気持ちで決まる話もあった。私は暮らしている間に、韓国には障がい者が少ないと感じた。健常者が点字ブロックの上に立っているのを見たり、ユニバーサルデザインが少なかったり、違和感があった。語学堂の先生に聞いてみたところ、韓国の国民性でせっかちな人が多いから、障がい者は外に出にくいと聞いた。公共交通機関で車椅子はどうするのか聞いたところ、せかせかしているから乗車に時間がかかったらみんなイライラすると言われた。“みんな”という言葉が10割ではないということを知っておかないと、偏見だらけになると思ったと同時に、普段自分がそのような言い方をしていないか、していたらやめようと思えた。人の言葉を簡単に信じるのではなく、現地人の言葉だからと統計もソースもない情報だけを信じるのは良くないし、“みんな”ではない少数派の意見も尊重しようと思った。

韓国で一年暮らして、不便に感じたことよりも便利に感じたことが多かった。

カード社会で現金は屋台でも使わないし、無人レジも多い。全ての地下鉄にホームドアが設置されているなど。そしてここから国民性や自殺、大気汚染などの問題が見えてくる。韓国で暮らしてからは普段何気無く暮らしているものの意味も考えるようになった。

自分が失敗したことも増えた分、成長できた。保険料の支払いや、帰国準備、TOPIK受講など、ギリギリまで手をつけず失敗したと思う部分もあった。しかし、自分は失敗したものの、次に活かさないで、次留学に行く人たちの助けに少しでもなれるといいなとずっと思っている。私は留学に行った人の連絡先があれば少しは不安が和らぐなと思った。偶然交換留学経験者と知り合ったため、話を聞けたが、もしその役割を誰かが私に望むなら快く受け入れるつもりである。

これからは、TOPIKのスコアを更新し、また違う資格や検定の勉強をする予定である。まだどん

な資格をとるか詳しくは決めていないが、よく調べるところから始めよう思う。自分の見えない部分もあるため、自分の専攻とは違うジャンルの説明会にも積極的に参加したい。日本にいても視野を広く見ることを意識できればいいと思う。

留学をするにあたり、不安になりすぎる必要はなく、困ったら助けてくれる人もいる。自分に自信を持って積極的に人と話していいと過去の自分に伝えたいと思った。

留学先	韓国・韓国カトリック大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 語学堂オプション授業の金額（カトリック大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月13日～11月23日）</p> <p>■冬ターム（12月12日～2月17日）101,500円</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（8月29日～1月14日）</p> <p>→□現地学生メインの授業</p> <p>■現地学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：4人部屋に日本人3人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：半年分まとめて支払い118,230円。</p> <p>寮費は現金支払いのみのため、注意が必要。</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：滞在可能。</p> <p>入寮時に滞在するか選択可能。後に滞在が必要になった場合（継続したい場合）には、寮の事務員さんに申し出て、追加滞在分の寮費を支払えば滞在可能。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	日本でSIMカード（aah!エデュケーション）を契約し、韓国到着時に自分のスマホで使用。私は月単位で延長して利用していた。
現地での資金調達はどのようにしていたか	専用口座にあらかじめ留学資金が入金してあり、その中でやり繰りしていた。JASSOの奨学金もその口座に入金になるようにしていた。その口座からVISAデビットカードにて出金し使用していた。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	基本的に現地で揃えることができるため、自分に合った薬や化粧品類など以外は日本から持っていく必要はないと思う。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	お金の引き出しや、クレジットカードはあっても使用できない等、当初金銭面の仕組みに慣れるまではとても苦労しました。私のやり方ではありますが、記載します。

当初は VISA デビットカードを使用し、韓国の銀行 ATM にて現金を引き出していました。日本で発行したクレジットカードが使用できない箇所が意外と多いので会計時や ATM の前で焦ることも多かったです。(大学内にあるコンビニが使用できず、当面はやむなく現金で支払っていました。そのためだけに現金を引き出しもありました。)

後に WOWPASS カードを発行し、使用していました。主要駅に設置してある機械で操作し、現金の引き出し、プリペイドカードとしてカードへのチャージが出来ます。交通カードとしても使用できるため、この一枚あれば困りませんでした。日本円で入金し、ウォンが引き出せ、帰国時は丸ごと引き出すこともできるのでおすすめです。ただし、出前の支払いには使えないため、そこは残念な点でした。

私は半年間の留学だったため、韓国でのカード発行は行いませんでしたが、皆さん 1 人 1 人、それぞれ重要視する点が異なると思うので、一意見として受け止めていただき、情報を収集してもらえればと思います。

## 留学最終報告書:半年間の留学を終えて

私は2023年の8月下旬から半年間、韓国のカトリック大学校に留学しました。

カトリック大学はソウル中心からは離れているものの、自然豊かで四季を感じられるようなキャンパスが魅力だと思います。私は日語日本文化学科だったのですが、受講した学科の日本語の授業がとても面白く、日本人の立場としての学びもあり、素敵な友人も出来ました。また語学堂のクラスは先生がアットホームな空気感を作ってくれるため、修了式では別れが寂しくなってしまうほどの、とても暖かい雰囲気のあるクラスで学ぶことが出来ました。とても素敵な思い出です。カトリック大学の最寄りの駅谷駅周辺では、基本的な用事は済ませることができ、駅谷は私の思い出の町となりました。

この留学を経て、私が出ることのできた重要点や価値観、また苦勞した点を挙げようと思います。私が特に感じた留学における重要点は、積極性の大切さです。

留学中は自分から尋ねたり行動したりしなければ、誰かしらが助けてくれることはほぼ無いため、基本的に個々の主体性が求められるなど実感しました。その分、自分から積極的に行動すれば、親切に教えていただける場面が多く、大きな達成感も生まれます。また留学中は現地の韓国人だけでなく、語学堂や学部の授業で、同じ留学生という立場の様々な国の方々とも出会い、交流する機会ができるため、自分の世界が広がりました。私はかなり内向的な性格のため、積極性が求められる場面では人一倍努力が必要となりましたが、一期一会という気持ちを大切に、行動してきました。自分から行動した分、自分を気に入ってくれる方が増え、私が助けを求めると親切に手を差し伸べてくれる方も増えたと今も実感出来ます。まだ十分とは言えませんが、人間面で成長できたのではないかなと思います。

次に私が苦勞した点として、体調面で悩む機会が多かった点です。コロナウイルスに感染した際は、自分の足で病院に向かい、完璧では無い拙い韓国語で自分の病状を伝えなければならぬという試練にも遭遇しました。コロナに感染した時期が学科の授業のテスト期間であったため、最後の授業に出ることが出来なかったことが私の心残りです。また、慣れない場所での生活によるストレスによって、体に様々な異変が起き、病院へ通う機会が多かったため、異国で病気になることの大変さ、健康でいることの重要さを実感しました。

加えて私は一人でいる時間が必要であるため、寮生活ではかなり苦勞しました。寮生活を始めた頃は、環境に慣れず完全に一人になれる時間が無いと感じ、ストレスになりました。部屋を選択する際には、寮費の面で悩むこともあると思いますが、多くの時間を過ごすことになる寮なので、自分に合った部屋を選択することを強くおすすめします。

半年間も家を離れ、それが初の海外という点で、この留学は私にとって大きな挑戦でした。当たり前前に楽しいことだけでなく、帰ってしまいたいと思う場面が何度もありましたが、家族や友人の励ましに支えられ、百パーセント満足のいく結果ではないとは言えど、達成することが出来ました。カトリック大学を選んで留学していなければ、友人や出先で交流した知人と会うことも無く、ましてやあまり日本では有名でない駅谷という地に足を踏み入れ、長い間家がある場所として生活

することはなかったであろう経験のため、帰国した今、とても不思議で感慨深く感じます。この留学にて私が置かれた状況が、人間面、精神面、知識面、勉学面で私を成長させてくれたため、挑戦を決断して良かったなど強く思います。この留学は私の人生において価値のあるものとなったため、経験から経ることのできた自分の財産を将来へどう繋げていくかを日々考えつつ、この経験を心得る機会を私に与えてくれた全ての人への感謝の心を忘れないようにこれから努力していきたいと思います。

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	1年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月14日～5月25日） □夏ターム</p> <p>■秋ターム（9月10日～11月26日） □冬ターム</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月2日～7月上旬） ■秋学期（9月1日～12月下旬）</p> <p>→■現地学生メインの授業 ■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：日本人1人</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：5ヶ月で19万の支払い、 （保証金の1万円が含まれています。）</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：1年留学の場合、夏休み期間は滞在可能でしたが、冬の語学堂の期間は、滞在不可能でした。</p> <p>長期休みの寮費：1ヶ月、3万8千円（2人部屋の場合）</p>
スマホ・携帯電話は どうしていたか	<p>日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入</p> <p>→金額など詳細：“aah!education”という会社で1年のSIMカードを契約しました。自宅に届くとき現地で使用することができる電話番号も取得できます。</p> <p>1ヶ月：5,900円×12</p> <p>送料 700円 <span style="float: right;">71,500円</span></p> <p>現地で使用していても、何も支障はありませんでした。</p>

<p>現地での資金調達は どうしていたか</p>	<p>現金は楽天デビットカードを使用していました。日本にいる両親から“円”で振り込んでもらい、“ウォン”で現金としておろすことが可能です。デビットカードは、韓国にあるほとんどの銀行で使用可能です。手数料が銀行毎によって変わります。屋台以外は、カード払いが基本なので、VISAカードやMASTERカードを準備しておくことをおすすめします。 ※VISAしか使用できないお店もあるので注意です。</p>
<p>現地で困ったので日本 で準備した方が良かったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分にあった薬</li> <li>• 生理用品</li> </ul> <p>※必要なものや、食べたい日本食がある場合、EMSで送ってもらっていました。（5日～1週間くらいで届きます）</p>
<p>留学を考えている後輩 へ伝えたいこと</p>	<p>留学後、現地での行動力がとても重要になってくると思います。語学力は、あればあるほど良いと思いますが、私は、初級程度の韓国語力で留学に行き、最初は、悩んだこともありましたが、間違えることを怖がらず、色々なことに参加し、伝えようと思いました。私は、3ヶ月経ったくらいから行動を始めました。もっと早く動き始めることをおすすめします。現地で学べるということは、とても良い経験だと思います。限られた大切な時間なので、後悔のないよう、有意義に過ごしてください。</p>

## 留学最終報告書

韓国に来て、深く勉強したからこそ、まだまだわからないことの方が多いということに気づきました。語学堂を通して、言語以外にも、世界各地の文化や伝統などを学ぶことができ、色々な国を見てみたいなど感じました。お互い自分の国の言語ではなく韓国語でコミュニケーションを取り合っていたので、外国語で伝える難しさと言葉が伝わり、たくさんコミュニケーションを取ることが出来た時の嬉しさなども同時に学ぶことができました。語学堂の授業では、10分の休憩は挟みませんが、9時から13時まで続けて行うので、最初の方は、とても大変でした。語学堂の授業では、『話す』『聞く』『読む』『書く』の全てを学ぶことができるので、毎日新しいことを身に付けることができます。韓国留学中に、TOPIKの申請もしました。韓国(ソウル会場)での受験はすごく倍率が高く、10時受付開始で、すぐにサイトを開いても4000人待ちでした。どんどん待機中の人数が増え、10000人近くにもなりました。私は運が良く申請に成功することができたのですが、ほとんどの人がTOPIKの申請をすることができませんでした。ソウルでの受験に申請することができなかった人は釜山の会場での受験に申請する人もいました。ソウルにある会場でTOPIKを受けたい場合、PCバン<sup>\*1</sup>や学校にあるパソコンで申請することをおすすめします。

韓国で出会えた友達たちも、多くの方が親切でした。誕生日は、韓国で過ごしたのですが、韓国人の友達がサプライズでケーキとプレゼントを用意してくれて、とても嬉しかったです。手紙も書いてくれてとても感動しました。韓国で、反日による差別などは経験しませんでした。屋台のおばさんやおじさんもこころ優しい方がたくさんいました。

自炊もたくさんしたのですが、韓国は、野菜や果物の物価が高いなど感じました。キンパやトッポッキなどを買った方が安い気もします。私は、9月から、寮の一人部屋に移りました。やはり、対人関係は難しいなど感じたと同時に、SNSのデメリットも学ぶことが出来ました。現地で初めて出会った人と一緒に生活することは、かなり大変だなど感じました。前期は、自身の韓国語に自信がなく、話すことが怖かったのですが、後期は、完璧な韓国語ではなくても、たくさん話すようになりました。その日に習った単語や文法をその日が終わるまで1回は使用しようと心がけました。徐々に、韓国語で会話することが楽しく感じるようになりました。韓国人の友達も、日本に関心を持ってきて、一緒に勉強したりもしました。

2月まで寮に住むことができないと言われ、急遽12月に帰国することになり、冬の語学堂に行かず、バタバタと飛行機の予約、新幹線の予約をしました。留学が一年の交換留学という契約なので、てっきり2月まで住むことが可能だと思っていました。これから、誠信女子大学校に留学する方々は、このようなことがあるので、気をつけてください。

長期休みを利用し、少し遠いところに行ってみたりもしました。地域によって、方言や、名物が

あるので、実際に体験することができ、とても良い経験になりました。“異国の地に住む”とは、限られた貴重な時間なので、現地にいる間は、たくさんの場所に行き、たくさん空気、景色を実際に肌で感じるといいと思います。

この留学は、私の人生の中でとても大きな行動であり、経験であり、有意義な時間でした。心の底にある本当の自分を見つけることができました。この留学を通じて私の短所も知ることができ、長所も見つけることが出来ました。そして、留学前の自分に足りなかったもの、まだ自分に足りないスキルも同時に知ることができました。留学前よりは、成長したと感じますが、この留学を通して語学力以外にも、あとの大学生活の 2 年でしなければいけないことを明確に知ることができました。日本とは別の地で、親元を離れ生活したことは私にとって、たいへん良い経験になったと思います。残りの大学生活、人生に、この経験を活かしたいです。そして、このような経験は、先生方、家族、友人のサポートがあっただけです。支えてくださった方々、本当ありがとうございました。

---

※1 高速回線が利用できる韓国におけるインターネットカフェのこと

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■春ターム（3月上旬～5月中旬）</p> <p>■夏ターム（6月上旬～8月中旬）有料</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■春学期（3月上旬～6月中旬）</p> <p>→□現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない。各部屋にキッチンがついている。主に、外食や冷凍食品を食べていた。休日は材料を買い料理をして食べた。</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：二人部屋でルームメイトは日本人</p> <p>→寮費は2か月間分で186万ウォンを口座に振り込んだ。</p> <p>→寮に入れる期間が夏休み前までだったため、残りの1か月の住居を急遽探すことになった。短期滞在者向けのコシウォンをウェブサイトから予約した。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本で番号のついていないsimカードを購入した。約5000円</p> <p>韓国で電話番号付きのsimカードを新たに購入した。120日間で約22000円</p>
現地での資金調達はどのようにしていたか	JALのクレジットカードにある程度の額を送金してもらい、さらに必要になったらその都度送金してもらい、銀行で引き出していた。

<p>現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと</p>	<p>韓国は蚊がとても多いのですが、韓国には虫よけスプレーやかゆみ止めの薬があまり売っていないので、日本から持っていくことをお勧めします。</p> <p>クレジットカードの引き下ろし上限額をできるだけ上げておくのを勧めます。</p> <p>寮費や語学堂の授業料など、いきなり多額のお金が必要になることがあるので、また手数料もかかるため、一回で引き出せた方がいいと思います。</p>
<p>留学を考えている後輩へ伝えたいこと</p>	<p>留学するうえで不安なことは尽きないし、それは仕方がないことだと思います。私も実際予想外のことがたくさんあり、頭を抱えることもありました。でも現地に行けば仲間もたくさんいるのでお互い助け合えるし、先生方や現地の方も手厚くサポートしてくれるので、あまり不安感を持たずに、当たって砕けるの精神でどんどんいろいろなことに挑戦して、楽しい留学生活を送ってほしいです。</p> <p>韓国では宗教関係の勧誘などがたまにあたりするので、韓国に留学する方は、道で声をかけられてもあまり反応しない方がいいと思います。私は一度声を掛けられ、いきなり住所と電話番号を聞かれたことがあるので、気を付けてください。</p>

## 留学最終報告書

私は約 7 か月間、韓国ソウルの誠信女子大学に語学習得を目的として留学した。誠信女子大学は韓国語教育や文化体験など外国人留学生のためのさまざまなプログラムが充実した大学である。そのため、留学生の在籍数も多く、私が留学の最初に参加した外国人留学生のためのオンライン説明会では、世界各国からの留学生が 100 人近く参加していた。韓国に来て、授業がない最初の 1 か月間は韓国の生活に慣れることに精いっぱいだった。また、韓国ではコロナ患者数が再拡大していた時期だったため、規制が厳しく、特に飲食店や娯楽施設に会場する際は、ワクチン接種記録や身元確認としての QR コードによる「QR 出入証」または、携帯電話番号が必要で、それがないと利用できない状態だった。私は QR コードもなく、携帯電話番号もまだ持っていなかったため、生活がとても不便だった。コロナ禍という時世でその先の生活に対する不安と大学の授業のことの不安が大きかった最初の 1 か月を過ごした。大学の授業が始まってもコロナの感染は落ち着いていなかったため、約 1 か月間はオンラインでの授業だった。大学の授業は語学堂の授業と学部の授業をそれぞれ受けた。私は語学堂に春学期と夏学期の 2 学期を通った。語学堂は 1 級から 6 級までの 6 つのレベルに分けられ、1 クラス 15 人ほどの少人数で行われた。私は春の学期は 3 級からスタートし、次の学期では 4 級を受けた。授業は月～金の朝 9 時～午後 1 時までの 4 時間授業だった。毎日文法を 4～5 つ習い、先生と生徒同士で会話の練習や作文の練習をした。最初は先生に質問されないと発言できない私だったが、周りの積極的な生徒たちにつられ、徐々に自分から発言できるようになった。課題は毎日出るため、平日は学校が終わってからも忙しかった。クラスの日本人は 2, 3 人くらいの割合だった。その他はベトナム、モンゴル、中国、フランスなど非常に様々な国からの留学生がいた。国籍はバラバラだったが、みんな仲が良く賑やかで楽しい雰囲気だった。そのおかげで様々な国の友達ができ、それぞれの言葉や文化にたくさん触れることができた。生徒とは基本的に韓国語で会話をしていたが、お互い言っていることが分からず、うまく意思が通じないことも多々あった。同じ韓国語を話していても、その国の発音やアクセントの癖、言葉のチョイスがそれぞれ異なることによって、聞き取れなくなってしまうことがたくさんあった。お互い韓国語を調べたり、言い換えたりしながら会話をしていたが、そのように試行錯誤し、頭をたくさん使って韓国語を毎日話すようになったため、韓国語を話す能力が著しく伸びていくのを自分自身でも感じた。休日にはクラスメイトの家に遊びに行き、作ってくれた故郷の料理を食べたり、反対に私が日本の料理を作って日本の食べ物を教えたりもした。次に、学部での授業を振り返る。学部では、韓国語のライティングの授業とインターナショナルセミナーという英語で行うプレゼンテーションの授業をとった。どちらも外国人留学生向けの授業だったが、韓国語のライティングの授業の方は、中級以上のレベルの人が対象で、私にとっては少しレベルが高かった。初

めはついて行くのに必死で、毎日欠かさず勉強をした。周りとの韓国語のレベルの差に圧倒され、自分の実力の低さに気づかされた。実力が追い付いてこず、追い込まれる日々が最初は続いたが、気づけば7、8週目にいて、その頃には難なく授業に取り組んでいた。インターナショナルセミナーの授業は、英語で行われ、テーマに沿った自分の国についてのプレゼンテーションを主に行った。私はこの留学で英語も自信をつけたいと思い、この授業を選んだ。私は今までプレゼンテーションをあまりやったことがなかったため、資料を作るのも時間がかかり、私にとって少し難しい授業だった。しかし、この授業を通してプレゼンテーションすることに慣れたと同時に、英語を話す力も上がったと思い、この授業を受けて非常に良かったと感じた。またグループワークの時に、英語のネイティブスピーカーの子達と話し合いをする機会が多く、本物の英語にもたくさん触れることができた。

私は今回の留学で、とにかく自分から行動をするという気持ちで半年間を過ごした。勉強に関してはもちろんだが、学校イベントや交流会などに積極的に参加するように心がけた。留学生と交流する際、相手がどのような目的と背景で留学しに来ているのかを聞いた。周りの生徒の意識や目標が自分とは全く異なるものがあり、それを知ることによって、ただ韓国の言葉や文化を学ぶだけでなく、その先の目標、自分の就きたい職業について深く考えることにつながった。

最初は韓国語を聞き取るのもままならず、留学に行くのも不安だったが、気づけば、道端で声をかけてきたご婦人の方と5分、10分おしゃべりをするほど話せるようになっていた。また、私の中で韓国に対するイメージが留学に行く前といった後で変わった。韓国は反日の方も一定数いて、日本人をよく思わない人もたくさんいると思い、もしかしたら留学中にいやな思いをたくさんするかもしれないと思っていた。しかし実際に行ってみたら、留学中に会った人は、親切な人ばかりだった。重い荷物を持っていると多くの人が声をかけてくれ、荷物を持つのを手伝ってくれた。韓国の方の親切心と人情の厚さに感銘を受けた。

今回の留学は語学習得が主な目的であったが、それはもちろんのこと、留学先での課題を自力で乗り越えられたことが、自立や自主性という面で大きく成長できたと感じた。異なる文化や言語で生活することは予想以上に大変でつらかったが、それ以上に楽しいこともあった。そして多くの新しい人との出会いが、わたしにとって大きく成長できた良い経験になった。

留学先	韓国・誠信女子大学校
留学期間（半年/1年）	半年
留学開始時の学年	2年生
派遣先での受講した授業と時期 （誠信女子大学校は語学堂の春と秋タームの授業は無料、夏と冬タームはオプションにつき授業料は有料）	<p>■語学堂の授業</p> <p>→■秋ターム（9月19日～11月29日）</p> <p>■冬ターム（12月12日～2月21日）有料</p> <p>■学部の授業</p> <p>→■秋学期（9月1日～12月8日）</p> <p>→□現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか：含まれない</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数：日本人、2人部屋</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額：後期186,000円（保証金10,000円）これは冬休みを含めない金額です。毎月払うのではなく、入寮してすぐに一括で振り込みました。5ヶ月で19万の支払い、（保証金の1万円が含まれています。）</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか：寮の延長申請をし、追加でお金を払えば滞在可能とのことですが、寮の担当の方に引っ越しをしてほしいと言われることが多い。</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	日本からSIMフリー端末を用意して現地でSIMカードを購入 →半年間契約し、一括で支払った。
現地での資金調達は どうしていたか	日本でVISAカードを作り、日本にいる両親から適宜口座にお金を振り込んでもらっていた。
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	韓国は夏～秋にかけて蚊が多いため、スプレーや塗り薬を準備した方がいいと思います。
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	留学前に明確な目標を設定するといいいと思います。（例えば、留学中にTOPIK0級を取得する。）それに沿って立てた計画

をもとに、日々の学習に取り組みやすくなると思います。また、目標がはっきりしていれば留学前の自分自身と留学後の自分自身を比較し、達成出来たこと、もっと努力しなければならぬことが明確になり、振り返ることができると思います。そして、留学前は韓国語の授業をしっかり受けて、それに加えて自分自身でも勉強して、できるだけ語学力を高めておいた方がいいです。

留学中の語学堂は始まる前にレベル分けテストがありますが、自分のレベルに合った級、もしくはそれよりも低い級の授業を受けることをおすすめします。無理に自分のレベルよりも高い級の授業を受けてしまうと、理解が出来ず、授業について行くことが大変になると思います。

留学中は勉強だけでなく自分のやりたいことにたくさんチャレンジしてみてください。

### 留学最終報告書: 留学を振り返って

私は2年生後期の半年間、韓国にある誠信女子大学校に留学をしました。実際に現地に行って生活したことで、多くの経験をし、様々な部分で学びを得ることが出来たのではないかと思います。

語学堂は秋学期と冬学期に通いました。1クラス15人程度だった為、先生との距離が近く、授業を受けやすい環境でした。分からないところはすぐに質問することが出来たため、つまづくことなく学ぶことが出来ました。語学堂では小テストがたくさんあった為、より語学力を高めることに繋がったのではないかと思います。小テストは作文のテストと発表のテストがありました。作文の小テストではこれまで習った文法や単語を活用し、文字数も多く書けるように意識しました。テストが返却される時に先生から頂いたアドバイスはとても分かりやすく、勉強になりました。自分自身の書いた作文と先生から添削していただいた作文を照らし合わせ、復習することで、以前よりも書く力を伸ばすことが出来たと思います。間違いを恐れずにまずは書いてみることを心掛けていたため、作文の小テストを通して韓国語で文を書く力がついたと思います。これからも毎日、韓国語で日記をつけることを続けていきたいです。発表のテストではいくつかのテーマの中から1つ選択して話しました。原稿を見ずに話さなければならなかった為、何度も繰り返し練習しました。話したことが相手に伝わった時や、他の人の発表を聞いて理解できた時は正直にうれしいと感じました。また、相手に韓国語で自分自信の考えを伝える力が伸びたと思います。これからも発音を意識し、話す練習をしていきたいです。日々の小テストにも力を入れていた為、中間試験と期末試験では良い結果を出すことが出来ました。学部の授業では、韓国語で文章を書く力を身につける授業を受けていました。これまで、韓国語を話すときと書くときの違いを比較し、深く学んだことがなかった為、とても新鮮で学ぶことが多かったです。文章を書く時のルールや言葉の選択、入れ替えが少し複雑で難しいと感じることもありました。主にデータから読み取れることや、比較した文、自分の考えを書く授業が多かったです。この授業には様々な国の人が参加していたため文化の違いを比較し理解し合いながら学ぶことが出来ました。また、授業では普段習わないような韓国の言葉や文化をたくさん教えてくださった為、初めて知ることや、学ぶことがたくさんありました。

生活面では、初めての留学ということで、不安やストレスが溜まることも多くありましたが、徐々に慣れていきました。特に冬休みに入る前に寮を出て、新しく住む場所を探したことは良い経験になりました。もちろん韓国で住む場所を探したことがこれまでなかった為、少し苦戦しましたが無事に見つけて住むことが出来ました。また、韓国の銀行での手続きや住民センターでの書類の手続きなどの時も親切に対応してくださったためスムーズに行うことが出来ました。いい人ばかりではなく時にはあまりいい思いをしないこともありましたが、様々な人がいることを知り、理解しようと心掛けてきました。これらの経験を含め留学を通して行動力や対応力が身についたのではないかと思います。

半年間の留学はあっという間でしたが、留学して本当に良かったと思える素敵な経験になりました。充実した生活を送ることが出来たのは支えてくださった方がいたからだと思います。留学にあたって支えてくださった方には本当に感謝しています。感謝の気持ちを忘れずに、留学中に得たものを無駄にしないようにしていきたいです。そして今後も韓国語の能力を高められるように日々励んでいきたいです。また、様々なことに挑戦し、努力することを大切にしていきたいです。